

私は 2016 年度に平和行動 in 沖縄に参加させてもらい、連合としての活動の一環で過去にあった戦争の傷跡を目の当たりにし、これを風化させない事、また繰り返してはならない事であると再認識しました。

また、前回の活動に対し非常に感慨深かったので、今回は自組織の役員 2 名と計 3 名で参加した。学校で学んだ戦争の歴史を再確認するとともに当時の悲惨さや命の尊さを感じて頂けたと思います。

これらの体験を通して学んだことを私の身の回りにも伝えていきたいと思います。

藏光

① 平和行動に参加して気付いたこと②平和行動の行程に関して気付いたこと

① 原爆が投下されてから 73 年経ちましたが、現在は広島町の町全体が非常にきれいに整備されていました。しかし、今も平和記念公園の地中には当時の被爆者が眠っていることを知り、非常にびっくりしました。

平和行動に参加することで命の尊さ、大事さを再確認するとともに、過去に起きた過ちを繰り返してはならない、また、この事を後世に伝えていかなければならないと感じました。

② 今年は異常な暑さだった為、行程がぎっちり詰まっているのはさすがに体に堪えました。

藏光 昇平

① 核兵器が与える衝撃

悲惨さや 2 度と繰り返してはならない事、また核に対する嫌悪感を世界中に与えながら、その知名度の高さからたくさん人間が集まってきているように感じました。

色々な意味で人を惹きつけているように思いました。

② 人が非常に多い

大坪 浩幸

① 今回参加させて頂いて感じたことは子供のころに学んだ戦争の怖さと今回大人になってから感じる戦争の恐ろしさが違った。

やはり今回実際に広島原爆による遺物・遺産を目の当たりにして、また、ボランティアの方々のお話や説明等に触れることにより過去の凄惨さを知り、平和という言葉が大切だと改めて思いました。

② スケジュールが詰まっているのは良いが、炎天下の下での移動が大変疲れました。

2 日目の集合時間を考えると、1 日目の終了時間が遅い様に感じました。

田中 幸和